



7

真鍋五丁目ふれあいいきいきサロン



開催日及び開催頻度

開催日	年43回
開催地点	真鍋五丁目公民館
代表者氏名	飯田 悦子
1回の参加人数	33名
参加費 (1人1回あたり)	※行事ごとに負担
広報方法	●チラシ(随時)

7 土浦市



開催地域の様子

- 昔から歴史のある町内で、文京地区でもある(幼中高:土浦一高)大学まであります。高齢者がふえてはいますが、若い人たちが住むようになり、活気がある町です。中心に八坂神社があり境内に公民館があります。真鍋鹿島神社祭りの時は、一大イベントになります。



←助成金で購入(椅子)
シルバーハビリ体操教室↓

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 町内には年一回の祭りの時しか顔を合わせる機会がなかったので、住民同士でふれあう機会が欲しいと町内の皆から要望があったので、町内の有志ではじめました。健康づくり、小旅行、三世代交流、住民同士が活動内容をきめ、共に運営する仲間づくりです。



真鍋五丁目
ふれあいいきいき
サロン

サロン運営上の協力者

- 自治会
- 土浦市社会福祉協議会
- 高齢福祉課
- 民生委員
- 消防署本部



連携先・協働先

- 自治会: 公民館使用、費用の補助、広報の協力(回覧板)
- 社会福祉協議会: 助成金、運営費
- 高齢福祉課: 出前、健康講座
- 婦人学級
- 女性防火クラブ
- 育成会



サロンのウリ

- 防災食づくり
市の女性防火クラブの認定を受けているので、災害の認識は高く、栄養管理士の元、災害の時の食事づくり参加者一同で計画(防災教室)。毎年行うこととしています。



運営費の確保方法

- 自治会からの補助
- 社会福祉協議会助成
- 参加者からの参加費



コロナ禍でのサロン活動について



- 7月からシルバーハビリ体操教室再開(8月猛暑のため中止)
3密をさけるため、参加者人数を2班に分け、時間をずらして行うことにしました。来館時のマスク着用、検温、備品等の除菌、手洗いに対応しました。緊急連絡名簿も作成しました。
- 10月4日、県森林湖沼環境税活用事業「霞ヶ浦湖上体験スクール」に参加(21名)。霞ヶ浦環境科学センターを見学しました。

- ◆助成金の活用によりパワーアップした活動
- ◆サロン活動で使える豆知識
- ◆サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を
予定している方へのメッセージ



- 助成金で椅子を購入し、サロン各行事に足、膝痛、腰痛のある人も安心して座って参加しています(最高年齢96才女性)。
- 歩いていける公民館での行事に参加することで、親密度が増し、ふれあいということで、おしゃべりがはずみ、「生きがい」のひとつになっています。
- 今後の活動
①災害に備えて、災害等講習会、防災食づくりを毎年とり入れる。
②「守ろう霞ヶ浦の水」をスローガンに環境を考えて、家庭廃油を回収する。